

# 第55回 北海道公立学校教頭会研究大会

## 第4分科会

研究課題「組織・運営に関する課題」

## 研究主題

「子どもの学びを保障するための組織作りに係る教育環境整備と  
組織の活性化を目指した教頭のマネジメント力の向上」

---

提言者 渡島公立学校教頭会

北斗市立島川小学校 足立 雅行

---

# はじめに・・・渡島教頭会について



渡島総合振興局内の函館市を除く  
1市9町の教頭会の連合体

小学校	37校
中学校	18校
小中学校	1校
義務教育学校	1校
分校	1校

複式校	19校
担任兼務	5校
教頭配置無	0校

# 平成29年度から令和元年度までの取組

## 第5課題「教職員の専門性に関する課題」について研究

### 研究主題

「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育」  
～教職員の意識高揚、資質能力向上を図る教頭の役割～

教職員の学校経営参画意識向上、資質向上に教頭としてどのようにリーダーシップを発揮し取り組んでいくかが課題。



効果的研修、職務意識の高揚、服務規律の保持徹底、ミドルリーダーの育成などに注目し、自校の教育効果を高める視点からの解明を研究する。

成果⇒教頭の関わり、ステップアップの確実な向上



教頭中心の取組から、一般教職員の組織的な取組へ



組織の活性化

令和2年度より 第12期 全国統一研究主題  
第4課題「組織・運営に関する課題」



つなげる

平成29年度からの3年計画

研究主題

「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育」  
～教職員の意識高揚、資質能力向上を図る教頭の役割～

# 令和2年度から4年度までの取組

## 研究主題

### 「子どもの学びを保障するための組織作りに係る教育環境整備と組織の活性化を目指した教頭のマネジメント力の向上」

#### 1 主題設定の理由

- ・ 将来の予測が困難
- ・ コロナ禍への対応

積極的・能動的な「生きる力」を育むためには…

学びの継続・保障

- ・ ICT機器等の活用による組織の協働
- ・ 家庭、地域と連携し、子どもの居場所を確保するための準備

校内外にある様々な組織の活性化とその活用やマネジメントしていく力等、教頭のより主体的な関わりについて研究する

# 研究の計画

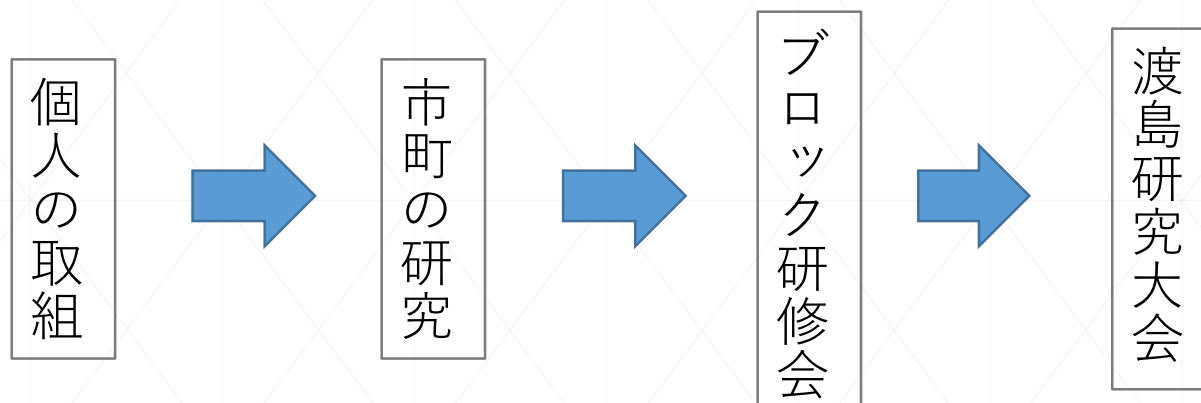
- 令和2年度：主題設定と研修計画立案、実践交流
    - ICT機器を活用した各種会議の実践と交流
    - 各市町の教頭のデータ管理、保存の実態把握
    - GIGAスクール構想に対応する数年先を見据えたロードマップの作成
  
  - 令和3年度：実践の改善・深化
    - 各市町の実態把握と実践収集
    - 視点1の課題把握と改善点等の分析
  
  - 令和4年度：成果と課題、研究のまとめ
    - 視点2の課題把握と改善点等の分析
    - 成果の分析・まとめ
-

# 研究の概要

## (1) 研究の全体像

- ①研究推進ロードマップの作成
- ②ロードマップに基づき教頭一人一人が自校の実態を踏まえ、「学校で取り組むこと」を各自で定める
- ③日常的な実践と成果や課題を「共通取組シート」に蓄積する
- ④各校の実践は年次毎に各市町（単位教頭会）で取りまとめる。

## (2) 研究の流れ





# 渡島公立学校教頭会 研究推進ロードマップ 2022 《ゴールの姿をイメージ化》

【研究主題】 ～子どもの学びを保障するための組織作りに係る教育環境整備と、組織の活性化を目指した教頭のマネジメント力の向上～

平成29年度～令和元年度までの研究成果が土台の成果（↓教頭の役割のステイジー一覧表）、「共通取組シート」による具体的な実践  
 ① 専門家としての意識高揚と資質能力向上  
 ② 学校経営への参画意識  
 ③ 効果的研修  
 ④ 職務意識の高揚  
 ⑤ 服務規律の保持徹底  
 ⑥ ミドルリーダーの育成

令和2(2020)年度

1年目(小学校:新学習指導要領)

令和3(2021)年度

2年目(中学校:新学習指導要領)

令和4(2022)年度

3年目(高等学校:新学習指導要領)

【視点1】子どもの学びを保障するための組織的なICT機器等の活用とマネジメント

## 《研究の立ち上げ》

- 5月 ・研究主題の設定  
・研修計画の立案
- 6月 ・各市町での実践スタート
- 7月 ・「共通取組シート2020」  
・ICT機器活用の実践交流  
・データ管理等の実態把握  
・働き方改革との関連検証  
・外部との積極的連携
- 10月 ・研究アンケート集約①
- 11月 ・1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークの一体的整備(予定)
- 12月 ・研究アンケート集約②

実態把握・実践交流

## 《実践の積み上げ》

- ・各市町の実態把握と実践収集
- ・視点1についての課題把握と改善点等の分析

- ・オンライン教育の推進
- ・デジタル教科書・教材等、ICTの積極的活用
- ・異校種間・学校間の協働、家庭・地域との組織的な連携強化

課題把握・改善点分析

## 《研究の仕上げ》

- ・視点2についての課題把握と改善点等の分析
- ・成果の分析、まとめのデータ化

- ・全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ・校内研修の充実等、チーム効力感を生み出す組織マネジメントの実現

課題解決・実践の充実

【視点2】組織の活性化を促す教頭のマネジメント

主な社会背景

「新たな社会 Society5.0」  
「GIGAスクール構想」

「持続可能な開発目標 SDG's」  
「学校での新しい生活様式」

# Goal

全国統一研究主題

未来を生きる力を育む  
魅力ある学校づくり

自ら積極的に未来を創造していく  
意欲をもって行動する

時代の変化に的確に対応する

# 生きる力



## 2つの視点

☆ 学校が組織として機能し、学校を取り巻く様々な課題に適正かつ迅速に対応するための体制づくりに関わって



**【視点1】** 子どもの学びを保障するための組織的なICT機器等の活用とマネジメント

① ICT機器の活用

(教育的効果と予測される問題点とその解決策等)

② 異校種間、学校間との協働性、家庭・地域との組織的な連携

**【視点2】** 組織の活性化を促す教頭のマネジメント

① 学校組織の活性化とデータの管理、保存の在り方

② 働き方改革との関連性について



# 共通取組シート②

R03 渡公教「共通取組シート 2021（兼実践のまとめ）」（ ） 教頭会

【研究主題】 ～子どもの学びを保障するための組織作りに係る教育環境整備と、組織の活性化を目指した教頭のマネジメント力の向上～

<令和3年度の重点>

【視点1】 子供の学びを保障するための組織的な ICT 機器等の活用とマネジメント

○ ICT 機器 の活用	I C T機器活用の具体的な実践について	実践における成果について
○ 異 校 種 間、学校間 との 協 働 性、家庭・地 域との組織 的な連携	外部との具体的な協働・連携について	協働・連携の成果について
○ 課題把握 と改善点に ついて（研 究主題に迫 る教頭の関 わりという 視点も加味 してくださ い）	視点1に係る具体的な課題について	視点1に係る具体的な改善点について

第56回渡島公立学校教頭会研究大会  
第2ブロック研究発表

# 七飯町教頭会における取組



令和3年11月27日（土）  
Zoom研究大会  
発表資料



# 令和3年度の研究推進について

今年度、

- ・ 町 (ICT教育推進委員会) 主催の教職員向け研修会
- ・ 各校におけるICT教育に関わる研修会は、加速度的に活発化した。



一人一台端末 chromebook

教頭会は・・

- 各校の取組状況を交流
- ICT教育、『学びの保障』に関わる社会や教育の潮流をキャッチする
- 子供達に必要な環境・授業の在り方等を的確に把握

- ⇒ ① 自校や町に発信  
② 組織の活性化・教職員の資質向上



## 各校における取組交流から

### ICT機器活用の具体的な実践について

#### ～授業において～

- タブレットを活用した授業の実施  
(classroom、google meet、スプレッドシート、タイピング練習、  
課題の提出は教師のタブレットへ、  
授業中タブレット上でアンケート実施⇒その場で公表等)
- 電子黒板、デジタル教科書、実物投影機の活用  
(タブレット上で子供が提出した作品や文章を電子黒板で紹介)
- 学年での一斉図工によるプログラミング授業
- 遠隔授業の実施  
(本町立小学校と他町立田中小学校との交流授業)

## 峠下小学校と三木町立田中小学校との遠隔授業



Zoomを活用  
田中小から招待される形式で

各校児童の自己紹介  
名前や好きな食べ物、クイズ等  
で交流。画面を通して、互いに  
笑い声が溢れ楽しい雰囲気。



各町の紹介

特産物や名所等の交流  
七飯町の紹介では、りんご、仁  
山スキー場、大沼等を紹介しま  
した。

## ICT機器の活用

## ～授業外で～

- google formを活用したアンケートの実施(いじめアンケート、研究アンケート、行事アンケート、朝の健康観察等)
- 在宅学習児に対応したオンライン学習
- ICTを効果的に活用するカリキュラムの作成
- 教員の災害事故休暇による補欠授業体制  
(学校共有ドライブを活用した学習プリントの児童との共有、ジャムボードでの学習課題提示による自主学習、meetを活用した朝の会・授業の実施)
- chromebookの持ち帰り
- 学級活動等、日常的な教育活動下での活用
- e-ラーニング登録による臨時休業中の学習の保障
- 欠席生徒へのタブレットを介した教科連絡等



## ～組織～

- 主幹教諭を中心に教育課程編成委員会にて情報共有、取組推進
- 校内ICT教育推進委員会によるICT機器活用や研修についての計画・実践・検証  
(教頭、主幹教諭、他2名)
- 町GIGAサポーターとの連携
- 校内ICTプロジェクトチーム
- 町ICT教育推進委員会との連携

手を洗おう 消毒しよう うがいしよう マスクしよう 換気しよう

### 朝のけんこうかんさつ

2006t002@nanae-school.ed.jp (共有なし)  
アカウントを切り替える

\*必須

学年

自分の学年をえらんでください。

学年\*

自分の学年を選んでください。

1年

2年

デスクトップ

## ～研修～

- ・町主催のICT教育(タブレット活用法)に関する研修会
- ・各校における自主的な研修会の実施
- ・子どもが主体的に学ぶ教材の発掘
- ・安心・安全なchromebookの使用方法確認
- ・デジタル教材を活用した指導方法の検討
- ・プログラミング教育やchromebookの活用に関する研修の複数回実施、スクラッチによる教材作成(算数)の実践研修
- ・教員のICT使用に関する資質向上研修の充実
- ・活用事例の収集と職員への周知
- ・ICT活用をテーマにした校内研究による実践交流



# ～大中山小学校の研修の様子

プログラミング～遊んでみよう！～ 講座



Micro:bit



Ozobot



スクラッチ

## 協働・連携の成果

### 町教委

- ・町教委やGIGAサポーターとの「学びを止めない」連携が安定し、chromebookの不具合にも迅速に対応できている。
- ・町全体でのC4thの使用。
- ・在宅学習児が時間割から参加できそうな教科を選択し、google meetを通してオンライン学習を行うことができた。チャット機能を使って意見を送信することで協働的な学びへの足がかりとなった。
- ・町のICT推進委員会とともにchromebookの様々な活用について実践交流や情報共有を実現した。

### 学校間・異校種間

- ・教頭間で具体的なICTの活用方法や研修資料等を随時交流することにより、共通理解を図り、温度差が出ないようにすることができた。

### 家庭・地域

- ・持ち帰り、使い方に関する家庭への連携以来と協力体制。
- ・中学校区統一した取組により、家庭学習の時間が増え、スマホやゲームの時間が減り、家庭や地域の意識変容につながった。
- ・紙媒体の削減、集計作業の軽減
- ・安心メールを保護者以外の関係者が登録することにより学校の状況を地域に周知。

## 視点1に係る具体的な課題

### 教頭としての働きかけ

- ・個別最適かつ協働的な学びを展開するため、教頭会で課題を集約し、校長会へ具申することにより町教委、GIGAサポーターを巻き込んで町全体として課題解決を図る必要がある。
- ・小中でのICT環境活用状況の統一性、整合性
- ・個人情報管理徹底のためのルール統一
- ・小中9年間の情報活用能力(情報モラルや操作等)の系統表・体系表、年間指導計画の整備の必要性
- ・小中でのICT環境活用状況の統一性、整合性
- ・個人情報管理徹底のためのルール統一
- ・情報モラル教育の充実、ルールの見直し



## 視点1に係る具体的な改善点

### 教頭としての働きかけ

- ・この先臨時休業になることを想定し、子供達の学びの保障のため持続可能なオンライン学習の形を構築する。
- ・GIGA担当教員の組織への位置付け。
- ・ICT機器活用の頻度差による学級差、教科間の差の解消
- ・中学校が、校区内全ての小学校とのICT活用状況を見極め、中学校での活用に整合性を持たせることが重要である。教頭が中心となり各校の担当との連携を深める。
- ・先進校の授業公開等への職員の派遣
- ・町教委ICT委員会、GIGAサポーターとの連携
- ・教頭間の連携強化、教育委員会への働きかけと協働、教頭から教職員へのICT活用に関する助言

# 成果

道公教第15次3ヶ年継続研究

→ コロナ禍により様々な制限がかかる中での取組

- 研究の全体像を確認
- 単任教頭会で取り組んだ成果
  - ・オンラインでの研究大会
  - ・ホームページでの資料閲覧による交流

課題改善に向けた方策や取組、成果や課題の共有化



## 課題

- ICT機器等の活用とマネジメント
  - ・ 活用状況の差が生じている実態
- 視点2及び3ヶ年継続研究の成果の分析・まとめ
  - 11月26日(土)
  - 第57回渡島公立学校教頭会研究大会



- 教頭のマネジメント力向上のための具体的な取組について整理及び実践の継続
- 次年度から始まる第16次3ヶ年継続研究を見据え、継続性・関与性・協働性を視点とした取組の深化

～ 御清聴ありがとうございました。～

---